

はろー

第1回 錦町議会と球磨中央高校との意見交換会



2026. NO
157

目次

- 球磨中央高校との意見交換会 2・3
- 第2回定例会 4
- 一般質問一覧 5・6
- 8人が一般質問 7～14
- 上京要望・研修報告 15
- 議会のうごき・軌跡 16

錦町議会と球磨中央高校との 意見交換会を開催しました



町内各団体との意見交換会は、町民に開かれた議会を実現し、より良い町作りにつなげようと平成24年から取り組みをしており、これまでに商工会や農業委員会、PTA連絡協議会、消防団、区長会等と意見を交わし町政に生かしてきました。

さて今回は、町議会が若者の意見を提言に生かすため、錦町議会と球磨中央高校の意見交換会を同校の協力を得て、6月30日に同校視聴覚室で開催しました。

議会も若者との意見交換は初めてで、今年3月に町と同校が締結した「包括連携に関する協定」に基づき計画されました。

同日は、地域未来探究科の生徒26人と全議員12人が出席し、前半は、グループワークで事前に取った全生徒へのアンケートを題材に意見交換を行いました。

錦町に関する アンケート結果

○錦町のイメージは

- ・自然が豊か
- ・フルーツが有名
- ・イオンがある
- ・秘密基地ミュージアム
- ・電波がわるい など

○錦町への要望

- ・お店を増やしてほしい
- ・公共交通機関を多くして欲しい
- ・くま川鉄道のダイヤを増やして欲しい
- ・バス の価格を下げて欲しい
- ・チェーン店が欲しい

○錦町への提言

- ・街灯を増やして欲しい
- ・地域全体を巻き込んだイベントの実施
- ・小中高を休みにしてのお祭りを肥後西村駅をキレイに
- ・高校生に限らず人が集まる施設を移動手段を増やす
- ・地元食材を使った料理を高校生が参加できる音楽フェスの開催

ほんの一部ですが、このように高校生からは、多くの要望や提言をいただきました。





後半は、全員で輪になりディスカッションを行い、生徒からは、「道の駅でスポーツができるようにしてほしい」、「ミスタードーナツがあれば嬉しい」など皆が楽しめる街づくりが提案され、学校関係では、「テストに合わせて列車が来れば便利」、「部活帰りが暗いので街灯を増やして欲しい」と強い要望などができました。

議員は、それぞれの立場で回答し「高校生からいろいろなことを教えてもらえて有意義な意見交換会だった」と感想がありました。



**生徒から意見交換会の
定期開催の声**

今回は、第1回目の意見交換会でありました。球磨中央高校を応援する立場として、定期的に開催し、年代を超えた知識、知恵をいただきながら、若者が残る町、地域未来創りを目指してまいります。

文責 早田 和彦



令和8年 錦町議会

第2回

定例会

補正予算 (一般会計)

3億3,361万3千円
を可決

各小学校屋内運動場空調設備設置工事、農業振興に係る物価高騰対策補助金など

令和8年第2回定例会は、6月9日から12日までの4日間の日程で行われ、令和8年度各会計補正予算6件のほか、契約1件、諮問1件などが上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

今回の一般質問には、8人が登壇し、執行部の考えを質した。

契約・その他

①町道松里永野線（黒辺田野橋）
橋梁上部工2期及び条件護岸
工事請負変更契約について

契約金額

変更前

100,980,000円

変更後

99,098,228円

契約の相手方

錦町大字一武2745番地2

株式会社イトウ建設

②町道路線の廃止について

③町道路線の認定について

切原野線（路線番号159）、狩

政線（路線番号160）の廃止・

認定

財産の取得

①消防ポンプ積載車購入

品名等

小型動力ポンプ軽積載車（4台）

取得金額

16,330,040円

契約の相手方

熊本市中央区上水前寺1丁目

10番5号

熊本いちばら工業株式会社

諮問

①人権擁護委員候補者の推薦につ
き意見を求めることについて

住所 錦町大字木上東1番地7

氏名 盛川長利

住所 錦町大字西989番地1

氏名 田村いずみ

報告

①令和7年度錦町一般会計繰越明許
費繰越計算書

②令和7年度錦町一般会計事故繰越
し繰越計算書

③令和7年度錦町水道事業会計予算
繰越計算書

第3回臨時会

令和8年5月14日に行われ、令
和7年度各会計補正予算等の専決
処分6件、条例改正2件、契約2
件、報告1件が上程され、原案の
とおり可決した。

条例改正（専決処分）

①錦町税条例の一部を改正する
条例

②錦町国民健康保険税条例の一
部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い改正
するもの

契約

①町道松里永野線道路改良工事
（永野1工区）請負契約につ
いて

契約金額

70,950,000円

契約の相手方

錦町大字西1882番地11

株式会社いなば

②町道松里永野線道路改良工事
（永野2工区）請負契約につ
いて

契約金額

80,300,000円

契約の相手方

錦町大字西30番地

有限会社小園建設

報告

①和解及び損害賠償額の決定に
ついて

令和8年第2回錦町議会定例会一般質問一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
早田議員 (P5)	建設事業者のランク付け	① 町内事業者のランク付けの基準は。 ② ランク付けの変更があったか。 ③ 同じランクで入札に参加出来ない場合があるのか。 ④ 業者ランクは公開できないのか。 ⑤ 電子入札システム導入の予定はあるのか。 公共工事・物品購入など。
	田島地区の土砂保管の目的	① 土砂保管の目的は。 ② 出水期での災害を心配されるが。
	学校との包括連携	① 球磨中央高校との連携の目的は。 ② 大学との連携の考えは（交流人口構築で）。 ③ 大学と中学校との教育交流ができないか。
丸小野議員 (P6)	近年のデジタル革命と学校教育	① 小中学校教育のデジタル活用。 ② コスト面から考えるデジタル活用。 ③ 世界のスマートフォン規制。 ④ これからのAI発展と学校教育。
	近年の物価上昇と当町の財政	① 近年の税収と基金の動向。 ② 地方債の状況。 ③ 固定費の動向（人件費・社会保障費等）。 ④ 物価上昇と財政の今後。
岡田議員 (P7)	鳥獣害の現状と対策	① 鳥獣害の被害状況は。 ② 助成事業の内容は。 ③ 鳥獣害を減らす有効な手段は。
	開通した南部農道の現状と課題	① 開通に31年の月日がかかり、センターライン、路側帯が消えている。安全管理上、問題だ。早急な対応を。 ② 速度標識など注意喚起が不足している。危険な交差点もある。対応策は。
	保健センターの施設の現状	① 保健センターの特に雨天時の出入りがしづらいとの声を聞く。町としての対応は。
高田議員 (P8)	町の財政は	① 10項目の基金がある。今後、どのような見通し、また、どのように運用していくのか。予定は。
	町立の図書館は	① 何度も質問しているが、建て替えの考えは。
	ひみつ基地ミュージアム	① 来年度で町からの委託料が終わるが、今後はどうするのか。

令和8年第2回錦町議会定例会一般質問一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
谷口議員 (P9)	町道の整備計画	① 各区から道路の整備要望書は何件ほど提出されているか。 ② 当町の現状、その道路の役割から、町道佐土原十日市線の道路は狭い。道路拡幅の必要があるのではないかと。
	関係人口の増加を通じた振興策	① 地域おこし協力隊についての当町の取り組みはどうなっているのか。 ② ふるさと住民登録制度が開始されたが、当町の計画はあるのか。
	役場職員数、増加すべきではないか	① 現状の職員数は適正であるのか。 ② 会計年度任用職員ではなく、正規職員を増やすことが町民にとっても必要ではないか。 ③ 球磨郡内の町村と比較すると、もっとも差があるのが農林水産担当の職員数。
金山議員 (P10)	デジタル化の推進は	① デジタル化の目的とメリット。 ② 自治体情報システム標準化の取り組み状況と効果。 ③ デジタル化推進による行政事務及び町民利便性向上の取り組み。 ④ デジタル化推進の課題。
吉田議員 (P11)	錦町の今後の観光PRは	① 夏目友人帳の人吉球磨への効果は。 ② 錦町のどこに効果があるか見られるか。 ③ 一武八幡宮参拝が多いとのことだが、交通手段は、そこで道の駅から八幡宮までの道路を（にゃんこ先生道路）としてのPRの考えは。 ④ くま川鉄道が9月内に運行再開と聞く、そこで再開開通を記念して、将来のために町内の駅名を変更する考えはないか。例えば（肥後西村駅→球磨中央高校肥後西村駅）（一武駅→一武八幡宮駅）（木上駅→ツクシイバラの里木上駅）等。 ⑤ 西地区、京ヶ峰横穴群くま川鉄道の橋梁近くに位置する町の観光地としてのPRの考えは。
	過去の質問のその後は	① 町道佐土原十日市線、ゼンカイミート株式会社までの道路拡幅の計画はないか。地元からの要望はないか。
荒川議員 (P12)	本町において外国人との共生。提言	① 現在の本町の外国人数。 ② 在住外国人への共生理解促進策。
	ふるさと納税企業版の可能性。提言	① ふるさと納税企業版、過年実績。 ② 主なプロジェクトとPR方法は。 ③ 今後の展開。

一般質問

Q & A

町政の

今回は8人が登壇
(要約掲載)

ここが聞きたい！

建設事業者のランク付けの基準と

電子入札導入の予定は

早田 町内建設事業者のランク付けの基準は。

町長 一般競争入札及び指名競争入札参加するものについて必要な資格を審査し、工事種別及び等級別に格付するのがランクになる。

総務課 格付については、錦町工事入札参加資格審査格付要項に基づき運用している。

同ランクの業者が指名されない事は

早田 同ランクの業者が、同じ入札に参加できない場合があるのか。

総務課 工事の成績、手持ち工事の状況、技術者の配置、施工実績などを総合的に勘案することとしているので、同ランクの業者が同じ工事に指名されないケースはあり得る。

早田 業者のランクは公開できるか。

総務課 役場窓口での閲覧は誰でも可能な状態にしている。錦町においては、今年度受付を開始する令和9・10年度分の資格認定から公表できるよう準備を進めていく。

電子入札導入の予定はあるのか

早田 電子入札はメリットが多い。導入予定があるのか。

総務課 電子入札についてはメリットが多い。県及び市町村で共同利用するシステムがあるが、近く更新が予定されている。新システム移行に合わせて、錦町においても導入の方向で、令和9年度を予定している。

早田 是非、導入に向けて準備をしていただきたい。

柳詰地区の土砂保管の目的は、建設発生土の仮置き場

早田 田島柳詰地区に保管されている土砂の目的は。

地域整備課 八代河川国道事務所によると、治水対策での、工事の円滑な実施、土地の利活用の観点から、柳詰地区の取得用地を建設発生土の仮置き場としている。これは一時的な仮置き場であり、今後、必要な工事に利用するため、土砂の搬出等を実施予定である。また、災害時には、復旧に必要な資材として早期復旧につながり、平時に加えて災害時の迅速な対応も可能になるとのことであった。

球磨中央高校と包括連携締結

早田 球磨中央高校と包括連携締結をされたが、その目的は。

企画観光課 今年3月に、本町と球磨中央高校と包括連携に関する協定書を締結し、連携した教育の充実、地域活性化、人材育成などに取り組みとしている。連携により同校の魅力化を図ることにより、人吉球磨地域外への高校進学への抑制及び若者の人口流失抑制につながるよう取り組んでいきたい。

早田 球磨中央高校との協定をしっかりと続けていただきたい。



建設発生土の仮置き場（柳詰地区）

近年の物価上昇と当町の財政

丸小野 せいいち 議員
まるおの

丸小野

近年の基金の動向は。

総務課

一般会計の積立基金の総額は、令和5年末で39億円、6年末で38億円、7年末で39億円程度で推移している。主な内訳の財政調整基金は15億円程度を維持している。また、将来の地方債償還の財源を目的とする減債基金は約10億円、公共施設の建設・改修の財源を目的とする公共施設整備基金は9億円程度で推移している。

丸小野

近年の円安、金利・物価の上昇傾向は当面続くと考える。当

町の財政の今後は。

総務課

近年の物価上昇は、公共施設の光熱水費をはじめ、建設工事費、委託料備品購入費など幅広い経費に影響する。当町においては、基金残高や各種財務指標は一定の健全性を維持しているが、人件費や扶助費などの固定費は増加傾向にある。今後は物価動向や行政需要の変化を注視し、事業の優先順位付けを行い、有利な財源の活用や基金の計画的な運用を図り、持続可能な財政運用に努める。

近年のデジタル革命と学校教育

丸小野

小中学校の児童生徒のスマートフォンへの規制についての考えは。

教育振興課

令和2年と令和7年

における10歳から高校生までの平均のインターネット利用時間は5年間で約2時間増加している。勉強や学習などの増加時間より、趣味や娯楽に利用する時間の増加が顕著だ。保護者や教師等がある一定の使用制限を課すことは必要と考える。併せて、制限と情報モラル教育をセットで実施しなければ効果は限定的になる。

丸小野

近年の生成AIの発展とそれを学校教育に活用する事についてはプラスもマイナスもあると考える。教育長の考えは。

教育長

現在、文書作成などの校務処理にAIの活用が始まっているが授業については、どう使っていくかは試行段階の状況だ。今後、学校教育において、子供たちに身に付けさせる力として、特に判断力と行動力を重視している。生成AIに相談したら回答が返ってくるが、問題を実際にどう解決するかを最終的に判断し、行動する主体

令和2年度と7年度における

10歳から高校生までのインターネット平均利用時間

	令和2年度	令和7年度
利用時間全体	205.4分	326.6分
勉強・学習・知育	37.5分	65.9分
趣味・娯楽	126.7分	180.9分
保護者・友人等とのコミュニケーション	44.7分	58.1分
上記以外	18.1分	37.2分

(令和7年度は速報。また、集計方法の特性上、利用時間全体は、各目的の利用時間の合計とは合致しない。)

は相談者本人であることに変わりはしない。更に情報リテラシーを中心とした小学校低学年からの系統的な教育の必要性を感じている。正しい判断をするには、物事の基本的な理解や基礎的な知識は不可欠であり、義務教育における学習内容の習得がますます大事になると考える。

有能なハンターは、一日にして成らず

岡田 毎年、鳥獣害によって大きな被害が出ているが、現在、町ではどのような対策をとっているのか。

農林振興課 令和7年度における被害金額は把握できているものだけで550万円であり、シカ553頭、イノシシ316頭、サル18頭、アナグマ37頭、カラス60羽、ヒヨドリ430羽が捕獲されている。

岡田 被害金額550万円は、氷山の一角であり、私自身も野菜や、米を栽培しているが、特にトウモロコシの被害には頭を痛めている。金網、ネット、穴を掘れないように防



おかだ たけし 議員
岡田 武志

草シートの設置、威嚇するためのセンサーライト、箱罠などさまざまな鳥獣害対策を行っているが、毎年大きな被害が出ている。一晩で200本の被害が出ることもある。

農林振興課 町の鳥獣害対策事業としては、捕獲に対する捕獲補助金、鳥獣害侵入防止対策補助金、狩猟免許取得、免許更新に伴う手数料の補助を行っている。

岡田 鳥獣害を減らすには、侵入防止も大事だが、個体数を減らす以外に方法がなく、追い払っても他の所で被害が出る。有能なハンターの育成が急務である。農家だけでなく、いろいろな団体に呼びかけて、計画的な狩猟免許取得者を確保し育成することが、地域環境の維持に繋がると考える。また、鳥獣害を町全体で考えることが、命の大切さや、食育の学びとなると私は思う。

開通した南部農道だが

岡田 31年の年月を要して、ようやく開通した南部農道であるが、センターラインや路側帯が消えている所があり、危険個所がある。早急な対策が必要と考えるが町の対応は。

農林振興課 南部農道の中には、林道との接続部分があり、総務課、地域整備課と連携し対応していく。



白線が消えている南部農道

利用者が雨に濡れないように

岡田 現在、町の保健センター出入口には雨よけが無く、雨天時に小さなお子さんを連れられた保護者の車からの乗り降りが大変不便である。他の町の施設、役場、温泉センター、道の駅では、雨天時でも利用者が雨に濡れることが無いように雨よけが設けられている。保健センター出入口にも早急に設置するべきではないのか。

町長 保健センターを利用される町民の方々には、大変ご不便をおかけしている。屋根等の整備を検討し、利用される町民の方々が、雨に濡れることがないよう対応したいと思う。



町立の図書館について



たかた 高田 孝徳 議員



図書館を核とした多世代交流拠点 南関町図書館〈このみ ch-i〉

高田 何度も質問しているが、町は建て替えの考えはないのか。

教育振興課 関心の高い事業とは考えている。教育委員会としては、現在の図書館の状況から、できる限り早い段階での整備ができればと考えている。令和7年度に実施した錦町づくりに関するアンケート調査では、多くの方から雨の日や夏の暑い時期に安心して子どもを遊ばせることができる図書館や、子ども館になると思うが、屋内施設の整備に関する意見がある。

高田 町長も図書館の大切さは分かっていると思う。予算の関係も承知の上で、町民の要望を受け入れ今後三ヶ年計画に先行して計上できないか。

町長 図書館、青年会館も含め、あの辺り全体を整備し直すことを検討しなければと考えている。全体的に三ヶ年の中で図書館も含め考えを

見直さなければと考えている。

高田 早期に見直すということなので宜しく願いたい。そこで人吉球磨地域には県立施設が一つもない。熊本県内の文化財は六割強もある。文化財の資料館、図書館づくりを県立でという方向性もあると思うが。

町長 地元に県議がいるので、今後相談しながら進めていきたい。

教育長 ご指摘のとおり、人吉球磨地域には県立の文教施設、文化施設が全くない。子ども達或いは大人ももちろんだが、そういう意味で文化に触れる機会が非常に少ない。是非そういう施設が人吉球磨地域に誕生することを強く願っている。

高田 今の答弁で一歩進んだと考える。

ひみつ基地ミュージアムについて

高田 来年度から町の委託料が終わるが、今後はどうするのか。

企画観光課 錦まち観光協会との指定管理期間が令和9年度で終了するので、令和10年度以降も引き続き錦まち観光協会を指定管理者として考え、手続を進めていくことになる。

高田 管理経理の収支状況を見ると、令和6年、7年度とも400万円強の経営赤字が出ている。この状況では指定管理料年額2,600万円に赤字400万円を足し3,000万円になると考えられる。その金額を町から出す町長であり、それを受け取る観光協会の会長である森本会長の考えは。

町長 引き続き観光協会に色々な面でミュージアムをお願いしたい。

高田 私見ではあるが、この施設を存続させるには、簡単に言えば博物館にするべきだと考える。現状では借金が増え続けると考える。



町道の整備計画

各地区からの要望は

連、観光関連など様々な交付金があり、どの交付金が最良の交付金かをよく検討していく。

民登録制度をどのように活用していくのか検討していく。

役場職員数、増加すべきではないか

谷口 類似団体と比較してやや少ない。職員数の現状、町長はどのような認識か。

町長 バランス、兼ね合いというのは大事。職員への負担がないよう再雇用を含め増やしていかなければと考える。

谷口 町民へのサービスの向上という部分では、会計年度職員ではなく、正規職員を増やすことが町民にとっても必要ではないか。

総務課 専門性や継続性を担う正規職員を計画的に確保していくことが重要であり、結果として町民サービスの維持、向上にもつながるものと認識している。持続可能な執行体制の確保に努めてまいりたい。

地域おこし協力隊、ふるさと住民登録制度の当町の取り組みは

谷口 地域おこし協力隊についての当町の取組は。

企画観光課 特産品を活用した商品開発、地場産品の販路拡大に向けた企画や活動を行う商品開発・販路拡大コーディネートと、動画配信サイトやSNS等を活用し錦町の観光情報、魅力発信を行う錦町地域プレゼンターの2つの業務に募集を行っている。

谷口 ふるさと住民登録制度はじまるが当町の計画があるのか。

企画観光課 令和4年から当町ではふるさと住民票を活用している。令和8年5月31日現在の登録数は157名。国が創設するふるさと住



見通しが悪い智源寺前の居去坂



たにぐち かすや 議員
谷口 一也

谷口 道路というのは、地域振興にとって基本となるものだ。地区から道路の整備要望書は何件ほど提出されているか。

地域整備課 要望書の数、令和7年度が3件、令和6年度は1件、令和5年度が3件で、道路補修、側溝蓋の設置、排水対策など、多数の要望書を頂いている。

谷口 木上地区にて、ゼンカイミートが移転、秘密基地ミュージアムもあり通行量が多くなっている。佐土原十日市線は道路拡幅の必要があるのではないか。

地域整備課 道路幅員が狭い4m未満の道路が延長のうち540m。地元から道を広げてほしいと要望も直接聞いている。国の交付金は社会資本整備総合交付金のほか、防災関

デジタル化推進による町民利便性

向上と行政運営の効率化を

かなやま たみゆき
金山 民幸 議員

金山 全国のほとんどの自治体は人口減少や厳しい財政状況政策としてデジタル化の推進に取り組んでいるが、目的と長所は。

総務課

目的は国の方針に基づき自治体DX推進計画を策定し、町民サービスの向上と行政運営の効率化等で、長所は将来的に各種手続きのオンライン化により、場所、時間に関係なく申請ができ、また、マイナンバーカードを活用した各種証明書の取得や税等の納付ができることや



デジタル化推進のため議会で導入しているタブレット端末

行政事務負担軽減等が図られる。

金山

本町のデジタル化推進による行政事務及び町民利便性の取組み状況は。

総務課

行政事務ではグループウェアの活用等により事務負担や経

費削減に取組み、電子入札の導入を計画し、議会ではタブレットを導入しペーパーレス化等を図っている。

町民利便性ではマイナンバーカードによるコンビニ収納始めQRコードによる町税等のキャッシュレス納付を進めている。特に、タブレットやスマートフォンを活用した行政・防災情報等を配信している。また、マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付についても検討を進めている。

企画観光課

勤労者体育センター等公共施設の予約状況はネットで確認できる。施設へのWiFi機器の設置について検討中である。

金山

オンラインシステム導入は、住みよい町づくりの要件であるので、早期にできないか。また、公共施設の使用申請と使用料のコンビニ納付はできないか。

総務課

オンライン化はシステムや運用経費等の課題もあるので、費

用対効果を十分考慮し取組みを進める。また、公共施設の使用等についても検討する。

金山

デジタル化推進の課題は。

総務課

情報セキュリティ対策、システム導入及び運用経費、専門職員の確保がある。

金山

今後も本町は人口減少対策、医療、介護、道路、上下水道等のインフラ整備や老朽化による公共施設等の改築等の財政需要が続くと思われるが、早期にオンライン化導入に取り組まれることを要望する。町長のデジタル化推進の考えは。

町長

自治体情報システムの18業務が8年度までに移行するので、行政の効率化と町民利便性の向上に繋がっていく。システム改修等に関しては、デジタル化に向けてしっかりと対応していく考えである。

町の名前を広めるために何を

吉田 夏目友人帳の人吉球磨への効果は。

企画観光課

人吉温泉観光協会に
来館される、夏目友人帳関連の来訪
者データによると、平成25年の1、
433人に対して令和7年度では
6,297人と4.4倍増加。夏目友人
帳による波及効果は年々増加傾向に
ある。令和8年度以降に、人吉球磨
観光地域づくり協議会が中心となり
人吉球磨管内の物産館等に夏目友人
帳のグッズ販売を行う。経済効果も
拡大していくと期待している。

吉田

道の駅錦でもグッズ販売計
画があるのか。錦町のどこに効果が

あるのか。

企画観光課

夏目友人帳関連のT
シャツやトートバッグ等の販売を6
月下旬から開始見込み。秘密基地
ミュージアムをはじめ、町内飲食店
等への効果が見られる。近年、一武
八幡宮に参拝されるファンが増加
し、九州内はもちろん、九州外から
のツアー客も増え、一武八幡宮に行
かれた後に道の駅に立ち寄り農産物
等を購入されている。錦町の経済効
果につながっていると考える。

波及効果を期待する

吉田

一武八幡宮の参拝者が多い
とのこと。そこで道の駅から一武八
幡宮までの道路を「にゃんこ先生道
路」としてのPR要望の考えは。

企画観光課

夏目友人帳のキャラ
クターや作品などの知的財産の利用
権を持ち、使用許可等の権利を管理
する著作権の許可、著作権料、関係機

関への手続きなどが必要。PRにつ
いては今後検討していく。

副町長

非常に人気のあるコンテン
ツ。協力いただけるよう動いていく。

吉田

くま川鉄道が9月20日に運
行再開と聞く。再開記念・将来のた
めに町内の駅名を変更する考えはな
いか。

企画観光課

町内の駅名変更につ
いては、今のところ考えていない。

これからのPRを考える

吉田

例えば、肥後西村駅を「球
磨中央高校肥後西村駅」・「球磨中央

高校前駅」、また一武駅を「一武八幡
宮駅」、木上駅を「ツクシイバラの里
木上駅」等に、観光と町のPRに。

副町長

経費の問題、各駅が町民
の皆様に着着して長い歴史もある。

吉田

くま川鉄道の橋梁付近に位
置する京ヶ峰横穴古墳群を町の観光地と
してのPRの考えは。

企画観光課

令和2年7月豪雨災
害以降、事故の危険性があることか
ら積極的なPRは行っていない。

吉田

くま川鉄道利用時、錦町の
最初の入口、そして出口PRを期待
したい。



被災後新しくなったくま川鉄道橋梁横の
京ヶ峰横穴古墳群

外国人在住者と共生していくために



あらかわ こういち 議員
荒川 孝一

確認だが、ゴミ出しのルールは本町と外国人を雇われている会社、アパート管理者とは連携をされているのか。

住民福祉課 外国人には、まず転入時にゴミ出しルールについて説明を行っている。また、関係者、雇い主等にも説明を行っている。

荒川 本町が出しているゴミ出しルール読本、ゴミ収集ボックス看板、日本語表記だけ。それで通じるのか。

住民福祉課 ゴミ出しルール読本については、外国人に説明する際に、現在、スマートフォン翻訳アプリを使って母国語にて説明を行っている。

資源ゴミと一般ゴミの分別ルール

荒川 資源ゴミとして段ボールを丸ごと出しても、回収業の方は持っていない。

住民福祉課 段ボールについては、



せめて英語表記の看板も

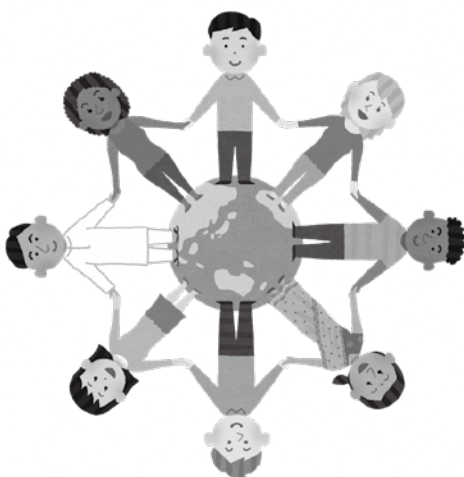
ゴミ分別など地域社会のルールを習得するための経費半分を交付金で負担するということだ。これはゴミ出しルール読本、看板費用も含まれるのではと解釈した。調査してみても。

住民福祉課 補助事業については確認し、今後検討してみる。

荒川 偏見は差別につながる。日本でも外国人に対しての差別偏見が起きている。そして不安が広がる。だが外国人からしても、異国の地での不安がある。地域社会を支える外国人と共生していくために、まずは、小さな事だが、ルールをお互いに守る。そのための手伝いをお願いしたい。

偏見は差別へつながる

荒川 提言として、今年度から国、総務省が多文化共生推進事業を拡大し、自治体が外国人在住者に対して



錦町議会「武蔵精密工業(株)表敬訪問、 地元国会議員要望等及び行政視察研修」

4月21日(火) 表敬訪問 武蔵精密工業株式会社本社（愛知県豊橋市）
4月22日(水) 研修 御宿町議会（千葉県夷隅郡御宿町）
4月23日(木) 要望活動 国土交通省（金子恭之大臣）・参議院会館（松村祥史議員・馬場成志議員）

研修項目

「〔若者×議会〕 町づくりワークショップ」の取り組みによる住民と議会との対話や政策提言・実行などプロセスなど。

研修内容

千葉県御宿町は、房総半島の外房海岸に位置し、人口約6,500人、高齢化率は50%超の町である。かつては夏の海水浴リゾート地として賑わったが、近年は観光客が大きく落ち込み、苦境が続いているという。この苦境を打破するためには、住民のエ



御宿町議会での研修

ネルギーと柔軟な発想が必要であると強く認識した議会が、結果的には失敗になっても、議会が率先し「町づくり」の一環として改革に挑戦し続ける姿を行政に見せていこうと、それによって、住民の意識も変わっていくのではないか。その一環として「〔若者×議会〕 町づくりワークショップ」の取り組みによる住民と議会との対話や政策提言・実行などプロセスなど次々と実施し、結果、第19回マニフェスト大賞（地方自治体議会や首長等による「優れた活動を募集し表彰する日本最大の政策コンテスト」の躍進賞を受賞された町である。御宿町議会滝口議長をはじめ列席の議員各位にまずは問うたのが、①若い方々との意見交換を誰がまとめ、どのようにに取り組み、生かしておられるのか？

回答として、議会報告会を開催してみたが、数名の町民が参加しただけだった。そこで形式を変え、台本が無い「ガチンコトーク」として茶話会的なワークショップに変更、トーク内容も子供の遊び場・多世代が楽しめる場所づくりなど多岐にわたる、今では参加した高校生が司会進行を務めるようになった。という。また、参加者数も膨らみ、年齢層も若者から高齢者・主婦等増えてきたという。町づくりの提言を議会が咀嚼し行政に伝える役目が果たせるようになったと回答であった。

最後に御宿町議会議員の言葉として「議会は味方だ。と感じられる場面を増やすことが大切」「改革は、留まらずに退歩を始めます。まずは住民、行政、議会が協力・連携して、町の課題に挑戦し、未来を切り開いていく道を示すこと」と。

錦町議会としても、意見交換会など実施しているが新しい住民との「語り場」を模索し町づくりに生かしていかなばと再度認識した。

文責 荒川孝一



武蔵精密工業(株)本社



要望活動（金子大臣）

農業委員会から議会に要望書提出

錦町では国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和7年度に農家支援5,000万円を組んで、農業経費の一部を補助する支援を行った。しかし、給付対象者が約170万円以上の補助対象経費を使った農業者のみ給付対象とするため、錦町農業委員会では錦町の農業を支える中小規模の農家にも対象となるよう補助内容の見直しについて4月20日に錦町議会に資材価格高騰対策支援に関する要望書を提出された。

要望書を受けて、町は令和7年度に事業実施した同補助事業の対象にならなかった中小規模農家に補助下限額を50,000円から1,000円に引き下げた補完事業で支援を検討し、6月定例議会で600万円の補正予算を決定した。令和8年10月30日まで交付される。

文責 石松 まゆ子



軌 跡

今年も半年が過ぎ、九州北部は6月4日に梅雨入り、7月8日頃で平年より11日早い梅雨明けであった。1か月降水量700ミリで幸い大きな災害もなく終わったと思いきや、毎日の猛暑日が続いている。熱中症にならないよう水分をしっかりと取って欲しいものです。農作業でも十分な休憩をとりながら、水分補給をしていただきたい。

今後、猛暑日が続くと作物にも影響が出てきます。水稻では、8月中旬頃から出穂期に入ります。球磨郡内でも多くの水が必要です。ダムの水量も心配です。農家の方々の水管理もしっかりとしていただきたい。

水量によっては収穫量も変わり、また台風も怖いものである。本町の基幹産業にも影響を及ぼす。肥料・農薬・燃油の高騰等農家にとっては厳しい状況にある。気象に左右される作物、梨・ぶどう他に野菜も収穫が良いものであるよう期待します。

文責 竹田 農利人

【広報特別委員会】

委員長	早田 和彦	委員	石松まゆ子
副委員長	谷口 一也		竹田農利人
			吉田 真二
		議長	荒川 孝一

議会のうごき

4月

- 1日 全員協議会
- 3日 商工会青年部意見交換会
- 5日 錦町消防団入退団式
- 7日 広報特別委員会
- 8日 球磨中央高校入学式
- 9日 町内各小中学校入学式
- 15日 広報特別委員会
- 16日 例月出納検査（～17日）
- 19日 第9回にしき産業フェスタ
- 20日 広報特別委員会
- 21日 武蔵精密工業株式会社本社表敬訪問・視察研修・上京要望（～23日）
- 27日 定例郡議長会議

5月

- 1日 全員協議会
- 13日 ふるさと祭り実行委員会
- 14日 令和8年第3回臨時会
例月出納検査（～15日）
- 15日 錦中学校体育大会
県町村議長会研修
- 16日 錦町職域対抗ゴルフ大会
錦町葉草生産部会総会
- 18日 下球磨町村議会正副議長会定例会議
- 19日 戦没者並びに産業自治功労者慰霊祭
球磨郡町村監査委員連絡協議会定期総会
- 21日 定例郡議長会議
- 24日 西小学校運動会
- 26日 全国町村議会議長・副議長研修会（～27日）
錦町防災会議
- 31日 分館対抗球技大会

6月

- 2日 議会運営委員会
全員協議会
- 5日 人吉地区防犯協会連合会評議員会
- 9日 議会定例会（～12日）
- 17日 例月出納検査（～18日）
- 19日 春の叙勲受章祝賀会
- 22日 定例郡議長会議
- 23日 核廃絶・平和行政に関する要請
- 25日 錦まち観光協会総会
- 30日 球磨中央高校との意見交換会